

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2014年2月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2014年2月1日発行 通巻250号(毎月1回発行)

千葉県連定時総会を

成功させよう

2月号 目次

・目次	2
・花博士の花便り	3
・千葉県連盟定時総会の案内	4
・全国連盟総会のお知らせ	6
・「山の声・ある登山者の追走」	7
・雪上技術講習会のお知らせ	8
・袋倉川調査報告	9
・房総ロングハイク報告	11
・ゆう便り	12
・2月県連便り	13
・2月・3月予定表	14

表紙説明

第30回房総ロングハイキングが、1月25日・26日に11会より55名が参加して行われた。

今回のコースは、石尊山——麻綿原——一杯水——東大演習林——本沢林道——坂本部落 普段は入ることの出来ない東大演習林を歩いた。参加者は、房総独特のモミ・ツガ・カシ類の巨木と奇岩が楽しめた。

30回続いた行事には、ハイキング委員長のロングハイクへのこだわり、房総の自然にこだわる中原氏、毎回楽しみに参加する会員の皆さん、それぞれの思いが繋がっていることを実感した。

—— 編集者 ——

花博士の花便り

2014 年 2 月

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

花の少ない月です。庭のロウバイとスイセンが満開で、房総ではヤブツバキや菜の花が咲いています。この時期に咲く花にマンサク（満作）マンサク科マンサク属があります。

マンサクは、日本の丹沢や箱根に自生しているそうです。“まず咲く花”と花が沢山つくので豊年満作から命名された？庭に植えられるシナマンサクが有ります。“支那満作”は花が咲くとき前年の葉が残っていることが多い。ほかに 4～5 月に咲く常緑のトキワマンサクが有りますが、最近では、赤い花のベニバナトキワマンサクが人気で生垣に良く見かけます。咲き方が細いひも状の花弁の様子から同じに見えますが別の属です。

散歩路では、オオイヌノフグリやホトケノザが真冬なのに咲いています。

ロングハイクでは、花よりも巨木のモミ、ツガ、アカガシの巨木は何回観ても飽きない。モミ太郎は、ロングハイクで毎回出会いますが、先月下見で計測しました、幹回りが 4 m あり樹高は、30m 以上有ります。ヤマザクラ・シイ・カシ類は“萌芽更新”して 5～10 本が育っています。自然保護の演習林のお陰です。



モミ太郎



山桜の巨木



マンサクの花



2014年度（第48期）

2015年度（第49期）

千葉県勤労者山岳連盟定時総会 案内

千葉県連盟定時総会を下記のとおり実施します。

加盟会・クラブは、代議員の選出及び総会役員の選出にご協力をお願いします。

記

- 1、実施日 2014年3月2日 12時より
- 2、会 場 千葉県総合スポーツセンター：宿泊研修棟 第4会議室
(陸上競技場を左に行き、右側一番手前の古い建物)
千葉県稲毛区天台町323
TEL 043-290-8501
- 3、アクセス 車利用： 穴川インターから16号柏方面へ3分左側
モノレール利用：JR千葉駅より、スポーツセンター駅下車
バス利用：JR稲毛駅より、京成バス草野車庫行き 15分
スポーツセンター入口下車
- 4、代議員選出 総会代議員は、会員10名に1人・会員数10名以下は1人
- 5、総会役員選出 議長 2名 書記2名の選出にご協力をお願いします。
- 6、緊急時連絡先 千葉県勤労者山岳連盟 会長 広木 国昭(090・8316・2020)



2014年度(第48期)

2015年度(第49期) 定時総会の主な議題は次のとおりです。

第1号議案	第46期 第47期	活動報告
第2号議案	第46期 第47期	会計報告 及び 監査報告
第3号議案	第48期 第49期	活動方針
第4号議案	第48期 第49期	会計予算
第5号議案	第48期 第49期	役員選出
第6号議案	千葉県勤労者山岳連盟 50周年記念行事について	

第48期 第49期 総会の目的と課題

今総会の主な目的と課題は、次のとおりである。

1、山での事故は、絶対に起こしてはいけない。

2013年度・全国連盟の死亡行方不明事故は、14人と最悪な事態となった。

千葉県連盟では、9件の事故が発生しました。いずれも軽度な事故であります、
一歩間違えると重大事故になる事故もあります。

山での事故を無くすため、教育活動、遭難事故対策を強化しよう。

2、組織強化に取り組み、楽しい会活動を実行しよう。

千葉県連盟の会員数は、11年11月末 778名、12年11月末 763名 2013年
11月 770名です。

全国的に会員拡大が厳しい事が報告される中、若干ではあるが新しい会員を迎える
ことが出来たことは、各会の活動の成果であります。

多くの新しい仲間を迎え入れて、800名の千葉県連盟をつくろう。

3、千葉県連盟は、委員会活動が中心です。

理事会活動、委員会活動に積極的に参加して、県連盟活動を活発にしよう。

各委員会に会代表を送り、委員会活動をサポートしよう。

4、千葉県連盟役員・全国連盟理事(3名)を選出し、活動を支えよう。

毎年役員選出が難航し欠員の現状です。特に事務局体制の確立に協力
をお願いします。会の現状にあった参加・協力をお願いします。

5、千葉県の豊かで美しい自然を守ろう。

「迫原ダム建設阻止」「鬼泪山を山砂採取から守る」運動に学び、自然保護運動に
参加しよう。

全国連盟 第31期 総会について

全国連盟第31期が下記のとおり召集されました。
千葉県連盟からは、吉田理事長・鶴田副理事長・戸石県連理事の3名が代議員として出席します。役員として、広木全国理事・岡田全国理事が出席します。

記

- 1 開催日 2014年2月15日（土）・16日（日）
- 2、開催場所 晴海グランドホテル
- 3、主な議題は、次のとおりです。
 - ・1号議案 第30期下期の活動総括と第31期上期（2014年度）の活動方針
 - ・2号議案 「個人会員制度」導入に伴う規約改定案
 - ・3号議案 「組織基本問題調査会」の中間報告について
 - ・4号議案 第30期の財政活動総括と第31期の財政方針、予算の策定
 - ・5号議案 全国連盟役員の選出、その他
- 4、目的と主要な課題は、次のとおりです。
 - （1）日本勤労者山岳連盟の現状と今後の活動方向、組織の拡大強化について。
 - （2）「ROUSANパートナーズ」（個人会員制度）促進・拡大の取り組みと規約の整備。
 - （3）重大事故多発の総括と一層の遭難対策活動の強化の提案について。
 - （4）地球温暖化など変化する山岳自然の保護の活動について。
 - （5）青年や少年に登山や自然の魅力と楽しさ、大切さを伝える活動の強化について。

以 上

「今総会の最大の争点は、個人会員制度の現状と組織強化である」

全国連盟は、促進本部を立ち上げ半年間の準備期間を置いて、2012年9月より個人会員の募集を開始した。約1年半を経過した会員数は約160人である。これは制度開始時の目標会員数には程遠い数である。

この間、実証区の協力を得ながら、各地方連盟、所属会などのホームページにバナーを掲載し、登山の入山駅の京王線「高尾山口」JR「奥多摩駅」などに有料でポスターを掲示した。入会・山行管理システムの開発も重点項目として取り組んで来た。現在の会員数は、予算面の制約等もあり、十分とは言えない活動の結果である。今総会では、全国理事会が先頭に立って活動を行う、具体的な活動方針の確立が重要な争点である。

個人会員制度の対極にある、現行組織の強化も重要な議案である。組織強化・会員拡大の成果が確認出来ない。その原因を明らかにし、全国連盟と地方連盟・会・クラブが共に取り組める具体的活動指針を確立する事も大きな争点である。

（文責）千葉県連 会長 広木 国昭

「山の声-ある登山者の追想」を観て

ちば山の会 八角洋

年末、東京赤坂で短編戯曲「山の声-ある登山者の追想-」を見てきました。ある登山者とは、日本の社会人登山の道を切り開いたといわれる加藤文太郎で、承知のように新田次郎の小説「孤高の人」のモデルでもあります。

加藤文太郎には「単独行」という単行本がありますが、一般には、「孤高の人」によって描かれた加藤文太郎のイメージを、ほぼ実像としてとらえている人も多いと思います。私もその一人ですが、戯曲大賞を得ているこの劇も新田次郎の作品がベースとなっているように思います。

客席を含めて 20 畳程のスペースで、登場人物 2 人、加藤文太郎と吉田登美久の会話を中心となる戯曲でした。登山食のエピソードから始まり、最後は風雪の北鎌尾根、そして幻の中、北鎌尾根の延長にヒマラヤに到達することを確信する加藤文太郎が描かれます。演出もよかったですが、自分のイメージしていた加藤文太郎であったのがよかったです。実際の加藤文太郎を知ろうと思えば、浜坂の記念館、あるいは六甲を歩けば、また違った人物像が見えてくるかもしれません。

劇の中では、文太郎本人の思いが語られますが、そこにも劇作家の、加藤文太郎の人生に対する共感があり、その上に劇が出来上がっていることに気づきました。活字とは違ったリアリティがあって、地下鉄を乗り継いで見に行った甲斐がありました。

「山の声-ある登山者の追想-」 第 16 回 OMS 戯曲賞大賞作品

作: 大竹野正典

@赤坂 CHANCE シアター 2013 年 12 月 28 日

今回寄せられた、演劇の紹介は「ちばニュース」では初めての事です。山の会の機関誌として、登山やハイキング、自然保護などに関する事、加盟会の活動紹介、会・個人山行報告などを中心に掲載しています。

今回寄せられた、文学・芸術的な投稿も歓迎し、掲載して行きたいと思います。ただ、編集者は文学や芸術には全く無縁の典型的な体育会系ですのでご協力をお願いします。

2014 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

昨年に引き続き、残雪期の事故防止を目的とし、主に単独では取り組みが難しい会を念頭に置いて、ちば山の会及び県連救助隊に協力を頂き、雪上技術講習を下記の通り開催します。各会よりの積極的な参加を望みます。



日時：4／5（土）

実施内容：①雪上技術訓練 初級及び中級 主管：ちば山の会

7：00～12：00 講師／ちば山の会他

②シート梱包・搬出法他

13：00～16：00 講師／県連救助隊

<追> 4／6（日）は自由行動

場所：谷川岳・マチガ沢出合い付近 現地集合

交通／宿泊：各会毎に。宿泊は 土合駅 マチガ沢出合付近等。

尚、ロープウェイ駅待合室は宿泊不可。

参加会の事前打ち合せ：3／27（木）19：00～県連事務所

持参装備：雪山装備一式

個人：県連推奨7点セット（補助ロープ10m スリング長1短

2 カラビナ2 環付きカラビナ1）

各会毎：銀マット1 ツェルト1 ロープ1

申込み・問合せ：3／16（日）までに。別紙申込書にて遭対委員会岡田へ。

e-mail：ken-ichi@f4.dion.ne.jp 又はfax：043-271-4704。

袋倉川調査報告

自然保護委員長 ちば山の会 菅井 修

目的 房総の山・谷の調査
日時 2013.12.14 安房天津8:00集合
場所 右図 赤線歩行経路
参加者 吉田(県連理事長・案内役)
菅井(ちば山) 荻野(こまくさ)

国道脇の空き地から軽1台で、細い林道を袋倉集落の入り口まで進みそこから林道を歩く。少し歩くと、昭和46年8月完成した袋倉川第1ダムに着く。



袋倉川第1ダム堰堤から

このダムと上の第2ダムは鴨川市の飲料水用として造られた。ダムの横に説明板が立っている。

第1ダムの横から、かすかな踏み跡しかない藪をかき分けて進み、第2ダムの上流から沢に入る。冬の乾季のため水は流れていない。川底には砂が堆積し、



比較的大きなコンクリートで出来た砂防ダム直下



その横に膝程の水がたまっている。時々膝下まで水につかりながら少し歩くと左の写真のような比較的大きなコンクリート製の砂防ダム堰堤の所にでる。

このダムの左に付けられた梯子を登り上に出る。このダムもすでに土砂ですっかり埋まっていた。

更に上流に進むと左の写真の様な鉄骨枠で大きな採石を積み上げた砂防ダムが出てくる。採石に使われている石は、どこからか持ってきたんであろう周囲の泥岩とは違い堅い岩石だ。



鉄鋼の枠で出来た大きな採石の砂防ダム全景



採石ダム直下の様子



ダム横のプレート

このダムの直下は浸食防止のためか左の写真のようになっている。横には上の写真の様なプレートが取り付けられている。

この採石ダムは下流の水道用ダムへの土砂流失防止が目的らしい。採石の隙間に足を掛け鉄骨をつかんでこのダムをよじ登る。やはり上は土砂で埋まっていて今ではその目的が十分果たせるかは疑問である。このようなダムがこの上流に6個も造られている。そのどれもが土砂でいっぱいになっていた。鴨川市の水源確保のために造られたようだが、房総の柔らかい地質を考えれば、すぐにうまり、その役目は果たせるとは思えない。業者のため の土木工事ダムとしか私には思えない。

最後の六個目のダムの所から川を離れ尾根へ登る。尾根筋には立派な林道を下る。たぶん採石ダムを造るための道であろうか。林道終点から急な斜面を下り橋を渡り第2ダム堰堤に出た。

第 30 回 房総ロングハイキング 報告

山行日 2014 年 1 月 25 日（土）26 日（日）一泊二日

参加者 松戸山の会 6、岳人あびこ 4、山の会らんとん 5、かがりび山の会 9、東葛山の会 7、
ちば山の会 6、ふわくハイキングサークル 5、こまくさハイキングクラブ 3、市川山の会 2、
君津ケルン山の会 2、茂原道標山の会 1 計 11 会 50 名

25 日（土）晴

東葛地区バス組は嵯峨山スイセンピークを歩き花と山行気分を堪能してから七里川温泉に行きました。大型バスの為、大回り（大多喜町）で行ったので予定より遅く到着。あわただしく、入浴もそこそこで交流会に臨みました。

徒歩組は養老溪谷から七里川温泉まで歩き、早々と到着してくつろぎました。

車組も到着して定刻には大広間に集合できました。

高見氏（東葛山の会）の司会で県連 広木会長（ちば山の会）の御挨拶を戴き、続いて中原氏（ふわくハイキング S）から明日の予定、と「花博士の花だより」写真を添えてのお話を聞きました。

次に古瀬氏（千葉こまくさハイキング K）会長からは「第 1 回から今日まで」の貴重な講演を聞きました。最後に古瀬氏の音頭で乾杯、交流会に入り、時をうつしてビンゴゲームで楽しく締めくくりお休みとなりました。

26 日（日）雨のち晴

4:00 起きて見ると大雨、どうしようか迷い委員と相談、もう少し待つことにする。

5:00 ごろから小降りになり、止むのを待ち 6:30 分出発と決める。

丁度雨も止み、定刻に出発出来ました。石尊山から麻綿原で早目の昼食を摂り、順調に東大演習林に入り、終点坂本に 15:00 到着、其々帰路に着く事が出来ました。

参加の方、委員の方ご苦労様でした。（ハイキング委員長 桑原年一）



みんな元気です。

ちば労山ゆうよりのお知らせ

日頃よりちば労山ゆうへのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

冬季は休止していましたが現地における支援活動ですが、3月より再開しますので多くの参加をお願い致します。作業は昨年もありましたが、小湊浜におけるワカメの収穫作業です。ワカメの収穫は一年のうちで3月から4月の短期に集中します。一人でも多くの参加を期待しています。

震災より丸3年を迎えようとしていますが、現地においては人手が足りていない状況は変わっていません。生業におけるボランティア活動に消極的あるいは批判的な意見がありますが、牡鹿は水産業で成り立っている地域です。そこでの水産業の復旧・復興なくして牡鹿の再生はないという思いでゆうの活動は続いています。このゆうの方針をご理解の上、ご協力をお願い致します。

尚、今年より参加者の経済的な負担を軽減すべく、交通費の補助を増やしました。一人当たりの交通費(ガソリン代+高速代+車使用料)負担の上限を4,000円とし、これを超える分はゆうよりの補助とさせていただきます。食事の補助は従来通り(2食分の自己負担500円、超えた分を補助)です。

記

当面の統一活動日：3月14日(金)夜～16日(日) 夜行1泊2日

4月11日(金)夜～13日(日) 夜行1泊2日

作業内容：いずれも牡鹿半島小湊浜におけるワカメ収穫作業のお手伝いの予定。

陸上における軽作業で、老若男女誰にでもできます。

参加費：4,500円(交通費、到着日の夕食と翌日の朝食費、これ以外は自己負担)

*宿泊は漁師さんの小屋になりますので、無料です。

連絡先：吉田 (tetsu195715@aol.com 090-1406-5008)

お申込みは各会でまとめてお願いいたします。

NPO法人ちば労山ゆう第2期定期総会

日時：4月24日(木) 19時より

場所：船橋市西部公民館 第四会議室

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX: 043-306-1190
Eメール: rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで

- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax: 043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。

- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp

- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟

- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号: ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名: NPO 法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治

- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、ご意見
問い合わせなどは・広木まで

NPO 法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

- ・入会情報 (12 月末)
 - 正会員数 109 名
 - 賛助会員数 165 名
 - 合計 235 名常時、会員を募集しています。
入会連絡は、上記アドレスまで!

新年度の NPO「ゆう」支援活動の
お知らせ

- ・ 3 月 15 日 (土) ・ 16 日 (日)
に実施します。

支援物資は常時販売中です。
下記アドレスに連絡を!

三陸・気仙沼直送の支援物資は
支援物資担当・広木までどうぞ

「おさしみわかめ」

「さしみこんぶ」

「くきわかめ」

「すき昆布」

「とろろこんぶ」

常時在庫あり、宅配相談下さい

danphiro@zpost.plala.or.jp

090-8316-2020

県 連 活 動 予 定 表

2 月	行事予定	3 月	行事予定
1 土		1 土	
2 日		2 日	県連総会（県スポーツセンター）
3 月	女性委員会	3 月	
4 火	役員会	4 火	役員会
5 水		5 水	
6 木		6 木	
7 金		7 金	
8 土		8 土	
9 日		9 日	
10 月		10 月	
11 火		11 火	
12 水		12 水	
13 木		13 木	
14 金		14 金	
15 土	全国連盟総会	15 土	NPO支援活動
16 日	（晴海グランドホテル）	16 日	〃
17 月	総会資料印刷 10時・事務所	17 月	
18 火		18 火	
19 水		19 水	
20 木	県連理事会	20 木	県連理事会
21 金		21 金	
22 土	関東ブロック救助隊交流集会	22 土	
23 日	谷川・土合山の家	23 日	
24 月	NPO役員会	24 月	
25 火		25 火	
26 水		26 水	
27 木		27 木	組織委員会
28 金		28 金	
		29 土	
		30 日	
		31 月	NPO役員会

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（事務所には常駐者はいません）

発行責任者：吉田 哲治

編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ